



これからの農業のモデルケースをつくりたい

先進的な技術を積極的に取り入れ、農作業の省力化を実践している佐藤さんを紹介し、自身が開発した直播機用の種もみの詰まりを感知するセンサーが「営農技術アイデア大賞2019」で優秀賞に輝きました。受賞の感想や農業への思いをお聞きました。

「他の農家さんにも使ってもらって、反応が良かったので自信作ではありましたが、受賞の話を聞いたときはびびりました」
もともと機械いじりが大好きで、足りないものは自分で開発してきたというアイデアマンの佐藤さん。19年前、当時は珍しかった直播による米づくりを始めるなど、新しいことにも意欲的に挑戦してきました。

「どうして5月の連休は遊びに行けないの？と子どもに言われ、省力化を狙って直播を始めました。田んぼにかかるコストや時間を削減すれば、他の作物を栽培できるし、休む時間もできる。週休2日の農家を目指しています」

しかし、始めたばかりのころは、うまくいかずに苦しいこともありました。それでも、次第に技術力を高め、創意工夫で困難を乗り越えてきたそうです。

「省力化してできた時間で、いろんな人に会って見聞を広め、さらに試行錯誤してきました。こういった積み重ねが、今回の受賞にもつながったと思います」

今後、先進技術を用いた魅力的な農業を行うことで、若い人に興味を持ってほしいそうです。

「ドローンを使ったICT農業など、どんどん新しいことを取り入れて、これからの農業のモデルケースをつくっていかれたらと思います」



さとう ひろゆき
佐藤 広幸さん (児ノ木)
● 営農技術アイデア大賞2019 優秀賞受賞

▶ 佐藤さんが開発したセンサー。市販の直播機では、種が詰まっても気付きにくいので、自動で感知し、ブザーや画面の表示で知らせる装置を独自で開発。種のまき直し作業を未然に防ぎ、時間と労力が大幅にカットできます。



※1 苗を植えるのではなく、田んぼに種を直接まく方法。1カ月弱かかる苗を育てる作業が無くなるなど、コスト削減が見込める。
※2 日本農業新聞主催。独創的かつ効果的な営農技術を考案した農家に贈られる賞。全国で大賞1人、優秀賞3人を表彰。

紙上ブログ

燕市長 鈴木 力

5月。新年度がスタートしてもう1カ月が経ちました。市内で感染者が確認されたり、政府より緊急事態宣言が発せられたりと、新型コロナウイルス対策に振りまわされた1カ月でした。天候に恵まれ、各公園では桜が美しく咲いていましたが、なかなか愛でる気分になれなかったことが残念です。行事の延期などが続いています。例年5月は、まちづくり協議会の総会にあわせて「ふれあいトーク」を実施していますが、やむなく中止となりました。明けぬ夜はない。市民挙げて、この事態を乗り越えていきましょう。

高速光インターネット・ケーブルテレビ・電話

おかけするまでご利用無料
55,000円
突破!!

ケーブルテレビ

123ch 道路情報チャンネル

洗濯や天候が確認できる!

CMおなじみ

♪ほらみんなで
エヌ・シー・ティ ひかり~

道路289号 燕市東太田付近

NCTエリア内の道路カメラで
24時間好きな時に渋滞や
天候をチェックできます。

県央エリア7ヶ所!

NCT エヌ・シー・ティ

フリーコール **0120-080-009**

〒940-0032 長岡市千場1丁目7-9
営業時間 / 【電話】9:00~18:00 (ドコモ光タイプCに関しては19:00まで) 【窓口】8:30~17:30 (月~土)

www.nct9.co.jp

※この広報紙は、環境にやさしいベジタブル・オイル・インクを使用しています。

▶ こちらは有料広告です。

発行/燕市
編集・企画/地域振興課広報広聴係
〒959-0295 燕市吉田西太田1934

☎0256-92-1111 FAX0256-92-2112
koho@city.tsubame.lg.jp
http://www.city.tsubame.niigata.jp/

「声の広報つばめ」：広報つばめを音声にしたものを、燕市公式ホームページで聞くことができます(ダウンロードも可)。